

# 福岡県の小児救急体制

## 1 福岡県の概況

### (1) 人口構造

(単位：人)

項目	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
人口	4,955,439	4,967,686	4,979,227	4,990,494	5,001,592	5,010,859
年少人口	763,964	749,411	737,308	727,324	721,503	714,117
割合(%)	15.4%	15.1%	14.8%	14.6%	14.4%	14.3%

\* 出典： 住民基本台帳調査 (3月31日現在)

### (2) 小児医療機関の概要

#### ①小児科標榜医療機関

項目	平成11年度	平成14年度	増減
・病院数	127	120	▲7
人口10万人当たりの数	2.5 (2.8)	2.4 (2.6)	
・診療所数	957	906	▲51
人口10万人当たりの数	19.1 (20.2)	18.1 (20.2)	

\* 出典： 医療施設静態調査 ( ) 内は全国数字

#### ②小児科標榜医師数

(単位：人)

項目	平成10年度	平成14年度	増減
・小児科標榜医師数	1,373	1,288	▲85
人口10万人当たりの数	27.5 (26.9)	25.5 (25.7)	
うち主たる小児科標榜医師数	676	684	8
人口10万人当たりの数	13.6 (11.1)	13.6 (11.4)	

\* 出典： 医師・歯科医師・薬剤師調査 ( ) 内は全国数字

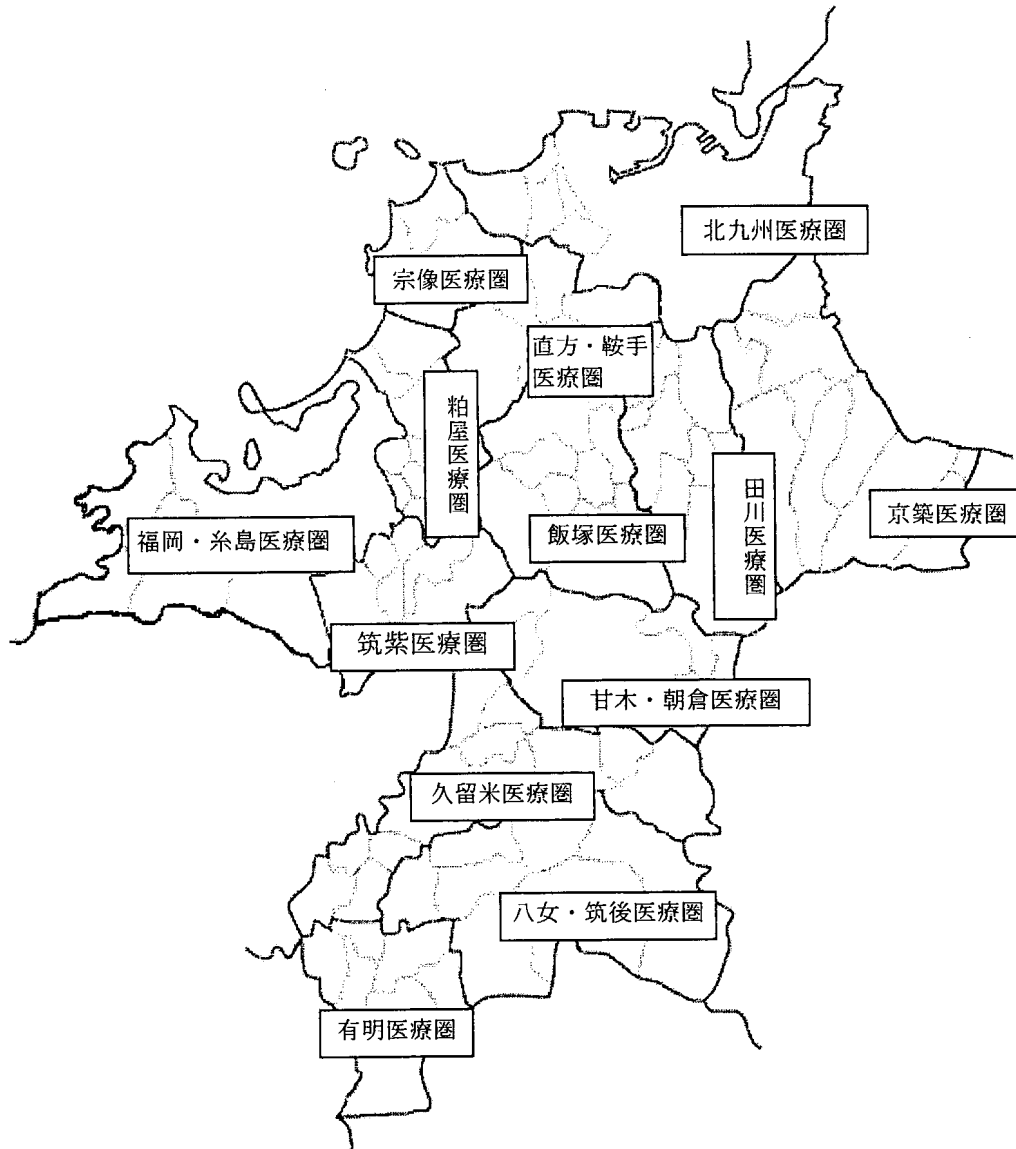
### (3) 小児救急患者の状況

#### ①休日夜間急患センターの小児患者の推移

(単位：人)

項目	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
・総患者数	216,098	210,985	233,435	255,557
うち小児患者	90,052	103,255	115,885	126,625
割合(%)	41.7%	48.9%	49.6%	49.5%

二次保健医療圏（地区保健医療圏）域図



医療圏名	市町村数	人口	医療圏名	市町村数	人口
福岡・糸島	2市2町	1,426,138	有明	2市5町	258,059
粕屋	1市7町	257,656	飯塚	2市8町	198,269
宗像	1市2町1村	149,782	直方・鞍手	1市4町	119,987
筑紫	4市1町	409,149	田川	1市8町1村	147,800
甘木・朝倉	1市4町2村	94,437	北九州	2市4町	1,141,454
久留米	3市8町	467,792	京築	2市7町2村	196,796
八女・筑後	2市4町2村	143,540	合計	24市64町8村	5,010,859

## 小児救急医療体制の概要

○県内の25箇所の休日夜間急患センターのうち		
・365日夜間（翌朝まで）小児科医が対応しているところ	3医療圏	5箇所
・365日準夜帯、小児科医が対応しているところ	1医療圏	1箇所
○24時間365日小児科医が対応している病院		
		計 18病院
<p>・病院の当直体制で小児科医が対応                  福岡医療圏（5病院）・北九州医療圏（8病院）・飯塚医療圏（1病院）・久留米医療圏（2病院）・筑紫医療圏（2病院）</p> <p style="margin-left: 20px;">* 筑紫医療圏は、10月1日から小児救急医療支援事業を実施。</p>		
○平日の準夜帯、小児科医が対応している病院		
		計 1病院
<p>・福岡医療圏</p> <p style="margin-left: 20px;">平日の準夜帯（17時～22時）、土曜（祭日を除く）の午後（13時から19時）</p>		
○開業小児科医が出務しての小児救急医療体制		
		計 2医療圏
<p>・八女・筑後医療圏                  平日の準夜帯（19時～23時）、開業小児科医が公立八女総合病院、筑後市立病院に出務して小児初期救急を行う。</p> <p>・筑紫医療圏                  平日の準夜帯（17時～23時）及び休日（9時～23時）、開業小児科医が福岡大学筑紫病院、福岡徳洲会病院に出務して小児初期救急を行う。</p>		
○開業小児科医の在宅当番医制による小児救急医療体制		
		計 1医療圏
<p>・有明医療圏（小児初期救急推進事業 H15年～H16年）                  大牟田医師会員の開業小児科医が、平日の準夜帯（19時～22時）、在宅当番にて小児救急を行う。</p>		
○小児救急体制を整備するための協議会設置		
		計 1医療圏
<p>・久留米医療圏（小児救急医確保調整事業 H15年～H16年）                  久留米医療圏の小児救急体制を整備するため、久留米市、医師会、久留米大学病院、聖マリア病院等による協議会を設置し、体制整備について検討。</p>		

福岡県の小児救急医療体制

生活圏	二次医療圏	初期救急医療体制					二次救急医療体制		三次救急医療体制	平成16年度事業	
		休日夜間急患センター			在宅当番医制		24時間 365日  (当直体制)	小児救急医療支援事業	救命救急センター	体制整備	小児救急医療電話相談
		24時間 365日	準夜帯 365日	その他	在宅当番	開業小児科医の病院への出務					
福岡	福糸	2カ所		5カ所			5病院		2病院	1カ所	
	粕屋			2カ所							
	宗像	1カ所									
	筑紫					1地域	2病院				小児救急医療支援事業 (16年10月1日～)
北九州	北九州	2カ所		6カ所			8病院		2病院	1カ所	
	京築		1カ所	1カ所							
筑後	久留米			1カ所			2病院		1病院	1カ所	
	有明					1地域					小児救急医確保調整事業 (15年度～16年度)
	八女										小児初期救急推進事業 (15年～16年度)
	甘木			1カ所							在宅小児科医が二次病院に出務 (市町村単独事業)
筑豊	直方			1カ所					1病院	1カ所	
	飯塚			1カ所			1病院				
	田川			1カ所							
4	13	3医療圏	1医療圏	9医療圏	1地域	2地域	4医療圏	1医療圏	6病院	4カ所	
		5カ所	1カ所	19カ所			16病院	2病院			

## 福岡県小児救急医療電話相談を開始します

夜間における小児患者の受診が増加していますが、その多くは軽症な患者で、自宅での療養や翌日昼間にかかりつけ医に診てもらうことで対応が可能なケースも多くあります。

この問題の背景としては、保護者の育児に関する経験不足からくる不安や身近に相談者がいないことなどが指摘されています。

このため、10月30日（土）から、365日（毎日）、夜間の小児患者が多い準夜帯（19時～23時）に、小児（子ども）の急な病気、ケガなどに関する電話相談を開始します。

相談に対しては、看護師又は必要に応じて小児科医が適切な助言を行い、また、相談者の身近な場所で夜間に診療が受けられる医療機関の情報も提供することで、保護者の不安を軽減するとともに、症状に応じた適切な医療を受けられるように図ります。

### 1 相談内容

小児の救急医療（病気、ケガ、薬、応急処置など）に関すること。

### 2 相談対応者

看護師又は必要に応じて小児科医が相談を受ける。

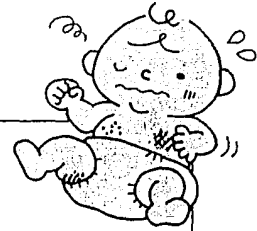
### 3 事業システム

24時間体制で小児科医が配置されている県下4箇所の病院に専用電話を設置し、#8000（県下同一の短縮番号）若しくは専用電話番号により、相談に対応します。

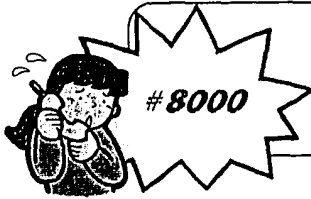
地域	病院名等	短縮番号（プッシュ回線）	専用電話番号
北九州地域	小児救急センター （北九州市立八幡病院内）	#8000	093-662-6700
福岡地域	福岡市立こども病院・感染症センター		092-725-2540
筑後地域	聖マリア病院		0942-37-6116
筑豊地域	飯塚病院		0948-23-8270

# 電話相談の流れ

子どもの急な病気(発熱、下痢、吐く、けいれん、ひきつけ等)



## 福岡県小児救急医療電話相談へ



#8000

#8000(県下同一短縮番号)若しくは専用電話番号

### 相談窓口



北九州地域

小児救急センター(北九州市立八幡病院内)

福岡地域

福岡市立こども病院・感染症センター

筑後地域

聖マリア病院

筑豊地域

飯塚病院

看護師、又は必要に応じて小児科医が保護者からの相談に対応します。



直ぐに、119番するようすすめる



医療機関に行くようすすめる



心配ないと思うが、何かあれば、医療機関に行くようすすめる



緊急に対応する必要はないと思うので、昼間かかりつけ医に行くようすすめる



よかった。看護師さん、先生ありがとう!

